

高圧配電盤「停復電ユニット」更新のお願い

停復電ユニットとは、電気設備で停電が発生した際に、他の系統電源や発電機への切替を短時間で自動的に行う、当社独自の制御装置です。

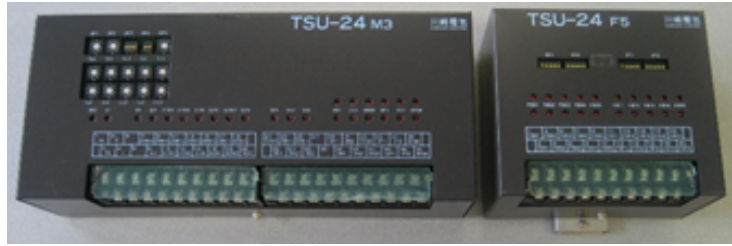


一般的にはリレーとタイマを電線で配線してシーケンスを構成しますが、当該ユニットはそれらをプリント基板に実装し、金属ケースに収納した製品です。

✓ 該当する場合は、更新をお勧めします。

- 導入してから7年以上経過している

※ 定期点検を2年以上実施していない場合は点検をお勧めしております。

停復電ユニットの型式と外観

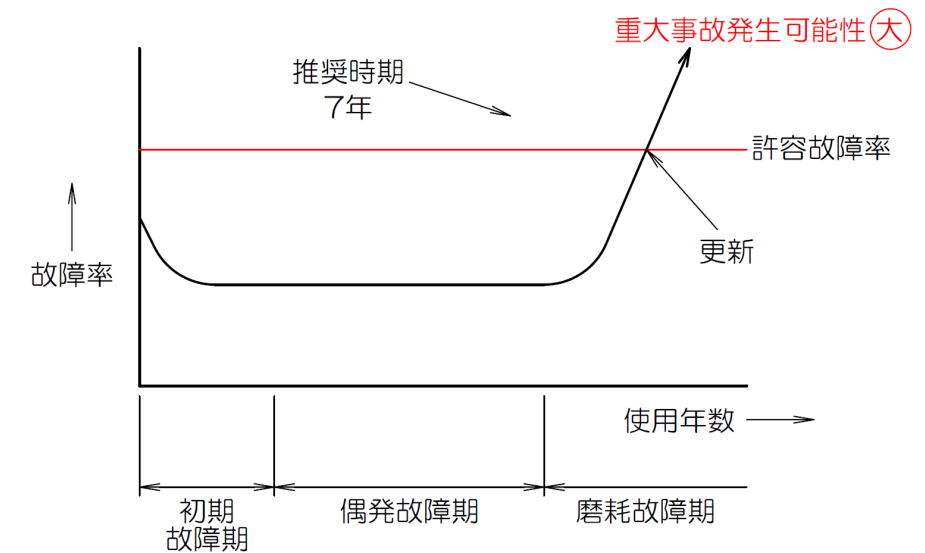
形式・年代	外観 (左側：親ユニット、右側：子ユニット)
TSU-24 第1世代 (1995年～)	
RFC 第2世代 (1997年～)	
RFC2 第3世代 (2004年～)	

推奨更新時期

推奨更新時期：7年※

※推奨更新時期は機能や性能に対する保証値ではなく、通常的环境のもとで通常の保守点検を行いながら使用した場合に構成材の老朽化などにより、新品と交換した方が経済性を含めて一般に有利と考える時期を示します。

機器の耐用年数は、使用環境や使用頻度により大きく変わりますが、一般的な劣故障パターンは、下図の曲線になります。



設備を安全に安心して継続的にご使用いただく為に、許容故障率を超える前の更新をご提案させていただいております。

ユニットの更新作業について

年次点検にあわせてユニットの更新をお勧めいたします。ユニットの交換の作業時間につきましては、使用台数にもよりますが、おおよそ2時間程度になります。

ユニット交換後に、当該ユニットを含めた全ての機器の動作確認として、模擬停電による総合連動試験の実施をお勧め致します。